

第6回 Oici 薬薬連携セミナー ～これだけは押さえておこう～

乳がん治療および感染症・周術期における薬剤師の関わりについて

開催日時： 令和7年9月17日（水） 19:00～20:00

開催形式： **Web 開催** ※講演資料は開催日までに事前に送信します

担当：大阪国際がんセンター薬局 西馬 怜（にしま さとし） TEL：06-6945-1181

事前申し込み： **≪締切：9月10日(水) 17:00≫**

参加を希望される先生は、下記の事前申し込みフォームを入力してください。



参加証明書の発行：事前申し込み、当日視聴ログ、開催後のアンケートのメール返信を確認し、ご希望者には、参加証明書のPDFデータを送信します。

参加費： 無料

内容：

今般、保険薬局薬剤師と病院薬剤師との連携を密にし、抗がん剤レジメンや副作用モニタリングの内容を共有することや、トレーシングレポートを有効活用することが重要です。

そこで、今回は、乳がん治療・感染症治療・周術期薬剤管理をテーマとし、主に副作用管理と薬薬連携の運用における情報の共有を深めることを目的としたセミナーを企画しました。

乳がんの治療を受ける患者数は依然多く、様々なレジメン・抗がん薬での副作用の理解を深めることが重要であり、重篤な副作用発見における保険薬局薬剤師の先生方が果たす役割は大きくなっています。また、がん治療における感染症および周術期薬剤管理は重要性が高く、理解を深める必要があります。

今回のセミナーでは、より実践的な内容について情報共有し、今後の業務に活かせるように有意義な時間を作っていきます。

講演 ①： 19：10～19：25

演題名： 「乳がん治療と薬剤師のかかわり（仮）」

講師： 大阪国際がんセンター 薬局 鎌田 宏和

講演 ②： 19：25～19：40

演題名： 「がん治療中の感染症治療について（仮）」

講師： 大阪国際がんセンター 薬局 浅原 章裕

講演 ③： 19：40～19：55

演題名： 「抗血栓薬と周術期薬剤管理（仮）」

講師： 大阪国際がんセンター 薬局 熊崎 満菜

※演者3名の講演のあと、まとめた質問コーナーとなります。

（質問は Chat 機能を予定しています）

以上